

## 9月8日（金）

【第1会場（ホール）】

10:20～10:30 開会の辞

10:30～12:00 シンポジウム1  
「社会環境アプローチによるがんリスク低減の取り組み」

司会：井上 茂（東京医科大学 公衆衛生学分野）

松尾 恵太郎（愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野）

S1-1 たばこ分野における取り組み

中村 正和

公益社団法人 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター

S1-2 食生活分野における取り組みと事例

高地 リベカ

奈良女子大学大学院 生活環境科学系

S1-3 身体活動支援環境を整理するためのフレームワークの提案

井上 茂

東京医科大学 公衆衛生学分野

S1-4 都市・交通計画から見る健康まちづくり

谷口 守

筑波大学システム情報系社会工学域

12:10～12:40 日本がん疫学・分子疫学研究会総会

## 14:00~15:00 一般口演1【疫学】

司会：澤田 典絵（国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部）  
杉山 裕美（公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部）

### O-1 福島原子力発電所事故前後における県内地域別のがん罹患及び死亡のモニタリング

○査 凌<sup>1)</sup>、松田 智大<sup>2)</sup>、雑賀 公美子<sup>2)</sup>、シャルヴァ アドリアン<sup>2) 3)</sup>、長尾 匡則<sup>4)</sup>、祖父江 友孝<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 大阪大学大学院医学系研究科

<sup>2)</sup> 国立がん研究センターがん対策研究所 国際政策研究部

<sup>3)</sup> 順天堂大学 国際教養学部

<sup>4)</sup> 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 疫学室

### O-2 A Comparative Analysis of Breast Cancer Incidence and Relative Survival in Japanese Men and Women: A Population-Based Study.

○Daisy Sibale Mojoo<sup>1)</sup>, Yukari Taniyama<sup>2)</sup>, Yuriko N. Koyanagi<sup>3)</sup>, Hiroshi Tsuge<sup>2)</sup>, Isao Oze<sup>3)</sup>, Yuri Ito<sup>4)</sup>, Kota Katanoda<sup>5)</sup>, Tomohiro Matsuda<sup>6)</sup>, Keitaro Matsuo<sup>1)3)</sup>, Hidemi Ito<sup>2)7)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Cancer Epidemiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan.

<sup>2)</sup>Division of Cancer Information and Control, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan.

<sup>3)</sup>Division of Cancer Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan.

<sup>4)</sup>Department of Medical Statistics, Research & Development Center, Osaka Medical and Pharmaceutical University, Osaka, Japan.

<sup>5)</sup>Division of Population Data Science, National Cancer Center Institute for Cancer Control.

<sup>6)</sup>Division of International Collaborative Research, Center for Public Health Sciences, National Cancer Center, Tokyo, Japan.

<sup>7)</sup>Division of Descriptive Cancer Epidemiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan.

### O-3 JMDCデータベースを使用した肺がん疑い症例の分析

○相原 直人<sup>1)</sup>、花房 真理子<sup>2)</sup>、川崎 由華<sup>1)</sup>、太田 将仁<sup>1)</sup>、西岡 大輔<sup>1)</sup>、藤阪 保仁<sup>1)</sup>、中山 富雄<sup>3)</sup>、祖父江 友孝<sup>3) 4)</sup>、伊藤 ゆり<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 大阪医科薬科大学

<sup>2)</sup> 東京医科歯科大学

<sup>3)</sup> 国立がん研究センター

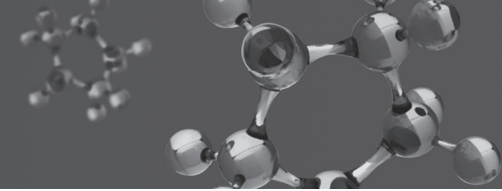
<sup>4)</sup> 大阪大学

### O-4 住民ベースがん登録に基づくがん患者の住所と病院住所との関連

○杉山 裕美<sup>1)</sup>、紺田 真微<sup>1)</sup>、雑賀 公美子<sup>2)</sup>、松田 智大<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部

<sup>2)</sup> 国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部



O-5 筋骨格系疼痛とがんリスクにおける地域特異性

○塩澤 伸一郎<sup>1) 2) 3) 4)</sup>、阿部 サラ<sup>1)</sup>、平林 万葉<sup>1)</sup>、井上 真奈美<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 国立がん研究センターがん対策研究所

<sup>2)</sup> 昭和大学保健医療学部

<sup>3)</sup> 東洋大学健康スポーツ科学部

<sup>4)</sup> 日本女子大学家政学部

O-6 生まれ年度による子宮頸がん罹患リスクの評価 ～20歳子宮頸がん検診結果の経年的観察調査～

○八木 麻未、上田 豊

大阪大学医学部 産婦人科

**15:10～17:10 合同シンポジウム**

**「第4期がん対策推進基本計画を踏まえたがん予防検診研究の方向性」**

司会：祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科 環境医学）

西野 善一（金沢医科大学医学部 公衆衛生学）

JS-1 第4期がん対策推進基本計画について

金川 弦暉

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

JS-2 「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」とがん予防

武藤 倫弘

京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的予防医学

JS-3 がん検診研究の研究費配分と今後の方向性について

山本 精一郎

静岡社会健康医学大学院大学

JS-4 計画の評価や指標に関する研究の視点から

片野田 耕太

国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 データサイエンス研究部

JS-5 AMED サポートによるがん予防検診研究

永田 知里

岐阜大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学分野

JS-6 特別発言：がん研究10か年戦略について

郡山 千早

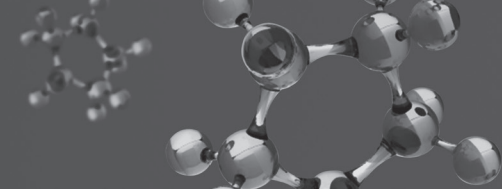
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 疫学・予防医学

## 【第2会場 (401・402会議室)】

## 13:00~14:00 ポスターセッション1

司会：伊藤 ゆり（大阪医科薬科大学 医学研究支援センター）

- P-1 原爆被爆者における子宮体がんの放射線影響：1958–2011年  
 ○歌田 真依<sup>1)</sup>、西阪 隆<sup>2)</sup>、杉山 裕美<sup>1)</sup>、門脇 ゆう子<sup>1)</sup>、Alina V. Brenner<sup>1)</sup>、坂田 律<sup>1)</sup>  
 1) 放射線影響研究所  
 2) 県立広島病院
- P-2 重症心身障害者における胃がん罹患リスク：大腸がんリスクとの比較  
 ○本荘 哲<sup>1)</sup>、伊藤 ゆり<sup>2)</sup>、山本 重則<sup>3)</sup>、後藤 一也<sup>4)</sup>、重田 みどり<sup>3)</sup>  
 1) 国立病院機構（NHO）福岡病 小児  
 2) 大阪医科薬科大 医学研究支援セ 医療統計  
 3) NHO 下志津病院 小児  
 4) NHO 西別府病院 小児
- P-3 Prevalence of family history of cancer in Japan  
 ○阿部 サラ、井平 光、南 哲司、山地 太樹、澤田 典絵、岩崎 基、井上 真奈美  
 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
- P-4 北信地域におけるがん診療連携拠点病院の整備状況とがん患者の予後との関連  
 ○瀧口 知彌<sup>1)</sup>、西野 善一<sup>1)</sup>、松田 智大<sup>2)</sup>  
 1) 金沢医科大学医学部公衆衛生学講座  
 2) 国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部
- P-5 J-MICC 研究における地理的曝露情報を組み込んだ情報基盤の構築  
 ○大野 慶輝<sup>1) 2)</sup>、川浦 正規<sup>3)</sup>、尾瀬 功<sup>1)</sup>、谷山 祐香里<sup>3)</sup>、小柳 友理子<sup>1)</sup>、松尾 恵太郎<sup>1) 2)</sup>、伊藤 秀美<sup>1) 2)</sup>、  
 J-MICC Study Group  
 1) 愛知県がんセンター がん予防研究分野  
 2) 名古屋大学大学院医学系研究科  
 3) 愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野
- P-6 国民生活基礎調査を用いた日本におけるがん検診受診への関連因子  
 ○小松 雅代、査 凌、北村 哲久、祖父江 友孝  
 大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座環境医学
- P-7 科学的根拠に基づく「日本人のためのがん予防法」の2022年度改訂版について：国立がん研究センター  
 研究開発費によるプロジェクト  
 ○田嶋 哲也<sup>1)</sup>、谷爲 茉里奈<sup>2)</sup>、金原 里恵子<sup>1)</sup>、阿部 サラ<sup>2)</sup>、井上 真奈美<sup>2)</sup>  
 1) 国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部  
 2) 国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部



司会：高橋 真美（国立研究開発法人国立がん研究センター研究所 動物実験施設）

**P-8 大学生による乳がん予防情報についての認知度調査（第14回東京都食育フェア）**

○寺内 恵美子<sup>1)</sup>、緒形 友里<sup>1)</sup>、鈴木 知沙菜<sup>2)</sup>、内田 杏子<sup>2)</sup>、井出 恵梨花<sup>2)</sup>、佐藤 彩<sup>1)</sup>、鈴木 礼子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 日本女子大学 大学院

<sup>2)</sup> 日本女子大学 家政学部 食物学科

**P-9 がん発症リスクとその原因となる部位を予測する意味と重要性**

**デジタルの力によるこれからのがんリスク予測検査、OneKENSA**

○喜多 克彦

20/20GeneSystems Japan 株式会社

**P-10 加熱式タバコの遺伝毒性評価**

○小宮 雅美<sup>1)</sup>、広田 航太郎<sup>1)</sup>、山口 大雅<sup>1)</sup>、石ヶ守 里加子<sup>1)</sup>、稲葉 洋平<sup>2)</sup>、戸塚 ゆ加里<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 日本大学薬学部

<sup>2)</sup> 国立保健医療科学院

**P-11 BRCA1/2遺伝子検査でBRCA1/BRCA2両遺伝子に2つの病的バリエントを保有する乳癌患者の同定**

○江口 英孝<sup>1)</sup>、仙波 遼子<sup>2)</sup>、清水 絵理<sup>3)</sup>、橋都 透子<sup>4)</sup>、茂木 英明<sup>5)</sup>、岡崎 康司<sup>1)</sup>、新井 正美<sup>1) 2) 3)</sup>

<sup>1)</sup> 順天堂大学大学院医学研究科 難病の診断と治療研究センター/難治性疾患診断・治療学

<sup>2)</sup> 順天堂大学大学院医学研究科 乳腺腫瘍学

<sup>3)</sup> 順天堂大学大学院医学研究科 臨床遺伝学

<sup>4)</sup> 相澤病院 乳腺・甲状腺外科

<sup>5)</sup> 相澤病院 遺伝子診療科

**P-12 患者由来隣がん細胞株におけるメラノコルチン受容体1型及び4型のSNPsに関する解析**

○高橋 真美<sup>1)</sup>、千脇 史子<sup>2)</sup>、松崎 圭祐<sup>3)</sup>、平岡 伸介<sup>4)</sup>、竹下文隆<sup>2)</sup>、今井 俊夫<sup>1)</sup>、葛西 秀俊<sup>1)</sup>、佐々木 博己<sup>5)</sup>

<sup>1)</sup> 国立がん研究センター 研究所・動物実験施設

<sup>2)</sup> 国立がん研究センター 研究所・創薬標的・シーズ探索部門

<sup>3)</sup> 要町病院・腹水治療センター

<sup>4)</sup> 国立がん研究センター 中央病院・病理科

<sup>5)</sup> 国立がん研究センター 研究所・薬効試験部門

**P-13 肝転移予防を目的としたAMIGO2の浸潤促進機構の解明**

○井筒 瑠奈<sup>1)</sup>、尾崎 充彦<sup>1) 2)</sup>、Seong Heekyung<sup>1)</sup>、岡田 太<sup>1) 2)</sup>

<sup>1)</sup> 鳥取大学 医学部 実験病理学分野

<sup>2)</sup> 鳥取大学 染色体工学研究センター

## 9月9日（土）

### 【第1会場（ホール）】

#### 9:00～10:40 シンポジウム2（日本環境変異原ゲノム学会 共催） 「基礎的な研究成果を次世代のがん予防法に展開する」

司会：武藤 倫弘（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的予防医学）  
戸塚 ゆ加里（日本大学薬学部 環境衛生学研究室）

##### S2-1 ヒトヌクレオチド除去修復機構と発がん

倉岡 功  
福岡大学理学部

##### S2-2 エピジェネティック修飾剤の検出とゲノム不安定性におけるその意義

杉山 圭一  
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

##### S2-3 DNA損傷に着目した合成エストロゲンの発がんリスク低減に関する基盤研究

岡本 誉士典  
名城大学薬学部

##### S2-4 細胞競合によるがん変異細胞検出法の開発

昆 俊亮  
東京理科大学 生命医科学研究所 がん生物学部門

##### S2-5 リードスルー効果を有する既存薬によるがん予防法の可能性

森岡 孝満<sup>1) 2)</sup>、仙波 遼子<sup>1) 4)</sup>、鈴木 健之<sup>1)</sup>、柳原 啓見<sup>1)</sup>、今岡 達彦<sup>1) 2)</sup>、新井 正美<sup>3)</sup>、齊藤 光江<sup>4)</sup>、  
柿沼 志津子<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 放射線影響研究部

<sup>2)</sup> 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所 量子発がん研究

<sup>3)</sup> 順天堂大学大学院医学研究科 臨床遺伝学

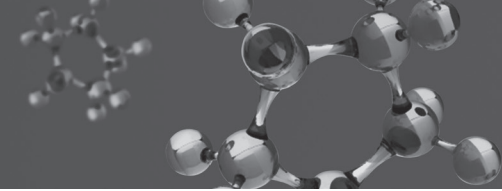
<sup>4)</sup> 順天堂大学大学院医学研究科 乳腺腫瘍学

##### S2-6 遺伝性腫瘍予防へのアプローチ

豊國 伸哉<sup>1)</sup>、孔 穎怡<sup>1)</sup>、羅 亜光<sup>1)</sup>、今岡 龍彦<sup>2)</sup>、本岡 大社<sup>1)</sup>、赤塚 慎也<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学

<sup>2)</sup> 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所



## 10:50~11:50 一般口演2【予防】

司会：岡田 太（鳥取大学医学部 実験病理学分野）

高山 哲治（徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学分野）

### O-7 加齢による腸内細菌 - 宿主応答の変化に注目した新規発がんリスクバイオマーカーの探索

○松崎 潤太郎<sup>1)</sup>、津川 仁<sup>2)</sup>、中山 淳<sup>3)</sup>、山本 雄介<sup>3)</sup>、加藤 健<sup>4)</sup>、大田 信行<sup>5)</sup>、大嶋 一輝<sup>1)</sup>、勝田 菜友<sup>1)</sup>、吉岡 祐亮<sup>6)</sup>、落谷 孝広<sup>6)</sup>、齋藤 義正<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 慶應義塾大学薬学部 薬物治療学講座

<sup>2)</sup> 東海大学医学部医学科基礎医学系 生体防衛学領域

<sup>3)</sup> 国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット

<sup>4)</sup> 国立がん研究センター中央病院 頭頸部・食道内科

<sup>5)</sup> Preferred Networks, Inc

<sup>6)</sup> 東京医科大学医学総合研究所 分子細胞治療研究部門

### O-8 癌細胞の悪性化予防標的分子としての新規癌幹細胞マーカー分子

○Seong Hee Kyung<sup>1)</sup>、井筒 瑠奈<sup>1)</sup>、尾崎 充彦<sup>1) 2)</sup>、岡田 太<sup>1) 2)</sup>

<sup>1)</sup> 鳥取大・医・実験病理

<sup>2)</sup> 鳥取大・染色体工学研究センター

### O-9 Connectivity Mapによる大腸癌予防薬の網羅的解析とSessile serrated lesionのオルガノイドを用いた抑制効果の検討

○川口 智之、岡本 耕一、藤本 将太、上田 浩之、和田 浩典、宮本 弘志、佐藤 康史、六車 直樹、高山 哲治  
徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学分野

### O-10 BRCA2変異はDNA傷害下でp21の局在を変化させ細胞周期チェックポイント破綻を引き起こす

○前田 勇貴<sup>1)</sup>、真下 知二<sup>2)</sup>、豊國 伸哉<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学

<sup>2)</sup> 東京大学医科学研究所 実験動物研究施設 先進動物ゲノム研究分野

### O-11 新規がん予防標的γ-グルタミルシクロトランスフェラーゼの阻害は、c-Met発現低下を介してがん細胞の増殖を抑制する

○齋藤 友充子<sup>1) 2)</sup>、谷口 恵香<sup>1)</sup>、飯居 宏美<sup>3)</sup>、堀中 真野<sup>1)</sup>、影山 進<sup>4)</sup>、中田 晋<sup>3)</sup>、浮村 理<sup>2)</sup>、酒井 敏行<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 京都府立医科大学・創薬医学

<sup>2)</sup> 京都府立医科大学・泌尿器科学

<sup>3)</sup> 京都薬科大学・臨床腫瘍学

<sup>4)</sup> 滋賀医科大学・泌尿器科学

### O-12 当院におけるリンチ症候群の選択的スクリーニングの現状と課題

○須田 竜一郎<sup>1)</sup>、小原 令子<sup>2)</sup>、廣川 朋也<sup>1)</sup>、片岡 雅章<sup>1)</sup>、柳澤 真司<sup>1)</sup>、西村 真樹<sup>1)</sup>、小林 壮一<sup>1)</sup>、岡庭 輝<sup>1)</sup>、中臺 英里<sup>1)</sup>、大野 幸恵<sup>1)</sup>、進藤 博俊<sup>1)</sup>、日置 翔太<sup>1)</sup>、安藤 英俊<sup>1)</sup>、近藤 尚<sup>1)</sup>、海保 隆<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 国保直営総合病院 君津中央病院外科

<sup>2)</sup> 国保直営総合病院 君津中央病院遺伝カウンセリング室

**13:00～13:40**      **日本がん予防学会総会・30周年記念奨励賞授与式**

**14:40～15:20**      **日本がん予防学会30周年記念鼎談  
「がん予防の将来像」**

司会：祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科 環境医学）

登壇者：石川 秀樹（京都府立医科大学）

中釜 斉（国立研究開発法人国立がん研究センター）

井上 真奈美（国立研究開発法人国立がん研究センター）

**15:20～15:30**      **次年度会長挨拶 閉会の辞**

**15:40～16:40**      **第7回認定セミナー**

司会：武藤 倫弘（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的予防医学）

講演1      PAFのupdateを含めた最新の日本人のがん予防法について

井上 真奈美

国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部

講演2      放射線発がんとかん予防

柿沼 志津子

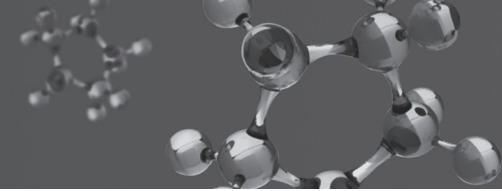
量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 放射線影響研究部

講演3      消化管がんの予防（咽喉頭～大腸）

間部 克裕

淳風会健康管理センター倉敷





## 【第2会場 (401・402会議室)】

### 13:40~14:40 ポスターセッション2

司会：魏 民（大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学）

#### P-14 ゲノム変異から探るカロリー制限の発がん予防機構

○尚 奕、森岡 孝満、臺野 和広、石川 敦子、柿沼 志津子

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 放射線影響研究部

#### P-15 低栄養下における貪食受容体発現亢進および腫瘍形成抑制

○永長 一茂<sup>1)</sup>、白土 明子<sup>2) 3)</sup>

<sup>1)</sup> 弘前大学・地域戦略研究所

<sup>2)</sup> 札幌医科大学・医療人育成センター

<sup>3)</sup> 札幌医科大学・大学院医学研究科・分子細胞機能学

#### P-16 Apocyninによるo-toluidine 誘発ラット膀胱増殖性病変への抑制効果

○鈴木 周五<sup>1)</sup>、魏 民<sup>1) 2)</sup>、藤岡 正喜<sup>1)</sup>、邱 桂鈺<sup>1)</sup>、郭 潤傑<sup>1) 2)</sup>、Vachiraarunwong Arpamas<sup>1) 2)</sup>、  
梯 アンナ<sup>1)</sup>、鰐淵 英機<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学

<sup>2)</sup> 大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学

#### P-17 非アルコール性脂肪肝炎および肝発がんに対する lactoferrin の化学予防効果の検討

○内木 綾、加藤 寛之、小村 理行、高橋 智

名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学

#### P-18 Glutelin hydrolysate of purple rice bran exhibited cancer chemopreventive activity against liver and colon carcinogenesis

○ Arpamas Vachiraarunwong<sup>1)</sup>, Aroonrat Pharapirom<sup>2)</sup>, Rawiwan Wongpoomchai<sup>2)</sup>, Min Gi<sup>1)3)</sup>,  
Shugo Suzuki<sup>3)</sup>, Anna Kakehashi<sup>3)</sup>, Masaki Fujioka<sup>3)</sup>, Hideki Wanibuchi<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University, Graduate School of Medicine

<sup>2)</sup>Department of Biochemistry, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand

<sup>3)</sup>Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University, Graduate School of Medicine

司会：堀中 真野（京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学）

P-19 Brca1変異ラットを用いた放射線関連乳がんのBrca1正常アリル不活性化の検証

○中村 柚月<sup>1) 2)</sup>、臺野 和広<sup>1)</sup>、石川 敦子<sup>1)</sup>、柿沼 志津子<sup>1)</sup>、高島 賢<sup>1) 2)</sup>、井上 一雅<sup>2)</sup>、今岡 達彦<sup>1) 2)</sup>

1) 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 放射線影響研究部

2) 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 放射線科学域

P-20 コリバクチン産生菌によるミトコンドリアを介した大腸発がんへの関与メカニズムの解明

○吉田 日向<sup>1)</sup>、宮本 真吾<sup>2)</sup>、鱧屋 隆博<sup>2)</sup>、若林 敬二<sup>3)</sup>、渡辺 賢二<sup>4)</sup>、武藤 倫弘<sup>2)</sup>

1) 京都府立医科大学 予防医学部門

2) 京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子標的予防医学

3) 静岡県立大学大学院・食品栄養環境科学研究所附属食品環境研究センター

4) 静岡県立大学大学院・薬学研究院 生薬・天然物化学分野

P-21 *Apc*<sup>Min/+</sup> マウス腸ポリープ由来細胞のオルガノイド形態に着目した初期発がんメカニズムの解明

○宮本 真吾<sup>1)</sup>、鱧屋 隆博<sup>1)</sup>、吉田 日向<sup>2)</sup>、武藤 倫弘<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子標的予防医学

2) 京都府立医科大学 予防医学部門

P-22 正常腸上皮／大腸がん細胞における温度感受性受容体TRPV4の機能解明

○鱧屋 隆博<sup>1) 2)</sup>、宮本 真吾<sup>1)</sup>、神長 輝一<sup>3) 4)</sup>、五十嵐 龍治<sup>3) 4)</sup>、今岡 達彦<sup>2) 4)</sup>、武藤 倫弘<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学大学院・医学研究科・分子標的予防医学

2) 量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研・量子発がん研究チーム

3) 量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研・次世代量子センサー研究チーム

4) 量子科学技術研究開発機構・放医研・放射線影響

P-23 グルカゴン遺伝子欠損マウスにおける膵内分泌腫瘍の解析

○堀 美香<sup>1)</sup>、前田 康喜<sup>1)</sup>、今井 俊夫<sup>2)</sup>、筆宝 義隆<sup>3)</sup>、豊國 伸哉<sup>4)</sup>、林 良敬<sup>1)</sup>

1) 名大・環研・内分泌代謝

2) 国立がん研究セ・研・動物実験施設

3) 千葉県がんセ・研究所・発がん制御

4) 名大医・病理病態学

**【第3会場（202会議室）】**

**12:00～12:50 日本がん予防学会 評議員会**